●10月は経済と地域社会発展月間・米山月間です。
室蘭北ロータリークラブ
会報 むろらんだけ 室蘭岳
IMAGINE ROTARY
Rotary
2022～2023年度　国際ロータリーテーマ
IMAGINE ROTARY
「イマジン　ロータリー」
2022～2023年度 RI会長　ジェニファー・ジョーンズ

2022年10月25日(火)　第2400回　例会

第2510地区　日本 (DISTRICT 2510 JAPAN)　●会長：西野　義人　●幹事：内池　秀光　●編集：クラブ会報委員会 (担当/内池　孝年)

本日のプログラム

夜間例会「クラブフォーラム」

講　師：特定非営利活動法人ゆめみーる
統括責任者　木内　　卓 様
テーマ：「子どもの食支援のための
フードサービス」

社会奉仕委員会

和定食（焼魚、鮪山掛け、煮物、白飯、椀、香の物、デザート）

次回の予定プログラム

卓話「クラブ広報委員会勉強会」

クラブ広報委員会
プログラム委員会

洋食ランチ（ビーフシチュー、マカロニサラダ、パンプキンスープ、パン、バター、フルーツ）

※11/1(火)は休会でお休みとなります。
※例会終了後、定例理事会を開催致します。

各種記念日

誕生記念日	山口	雄平 会員	10月23日
誕生記念日	千葉	大和 会員	10月23日

出席報告

会員数	51名	出席者数	28名
出席免除者数	0名	欠席者数	23名
出席義務者数	51名	出席率	54. 9%

●例会場　アパホテル室蘭
●例会日　毎週火曜日　12：30　P.M.
●事務所　室蘭市中島町2丁目28-6
●電話　0143-45-6569　●FAX　0143-50-6578
●URL　http://murokita-rc.org/
●E-mail　mur-n.rc@athena.ocn.ne.jp

前回までの例会の報告

第2399回（10月18日）例会記録

［本日のゲスト］

室蘭中央自動車学園
管理者 校長　髙瀬　　裕 様
蘭東少年野球同好会　会長　浜野　　進 様

［会長報告］

1．地区大会の報告
2．第48回市民植樹祭の開催のご案内
　日時：11月11日(金)
　　午前11時～12時(小雨決行)
　場所：入江公園
　持ち物：スコップをお持ちの方はご持参ください
　記念品：参加者には記念品をご用意しています
　回覧致します。
3．3RC合同例会のお知らせ
　日時：11月22日(火)　18:00～
　開場：アパホテル室蘭
　会費：クラブ負担

［委員会報告］

1．社会奉仕委員会　太田義則委員長より
クラブフォーラムについて
2．職業奉仕委員会　廣瀬　禎副委員長より
「ロータリーの行動規範」の読み上げを行います。

寄付金贈呈式

蘭東少年野球同好会会長　浜野進様へ、西野会長より寄付金が贈呈され、一言ご挨拶をいただきました。

青少年奉仕委員会　宮本一章委員長

前回例会のプログラム

卓話「交通安全と地域活性化のためのまちづくり」

室蘭中央自動車学園
管理者・校長　髙瀬　裕 様
プログラム委員会

●プロフィール
昭和33年６月１日、釧路市生まれ(64歳)。
昭和53年10月　北海道巡査拝命
平成23年４月　北海道警視任命
平成29年４月　名寄警察署長
平成31年３月　北海道警察退職
平成31年４月　室蘭中央自動車学園管理者・校長
警察勤務時は、主に交通警察を歩み、交通安全対策（安全教育・高齢者対策）に従事。

１　管内の交通状況
⑴交通事故の発生状況【資料1】
ア　室蘭市の交通事故の特徴
交差点での発生が40%
イ　事故多発箇所
国道37号線の東町から本輪西町の区間
市道母恋東町通りの輪西1丁目から３丁目の区間
道道中央東線、室蘭環状線の中島町から知利別町の区間
⑵人口と免許人口【資料2】
65歳以上の約２人に一人が免許取得者、交通事故の第一当事者の66%が高齢者

２　年間死者数の減少に向けて【資料3】
第11次北海道交通安全計画の目標は、令和７年までに年間死者数を134人以下とする。

３　高齢者対策
改正道路交通法(高齢者講習の)見直し【資料4】
○認知機能検査
自身の判断力と記憶力の状態を確認するために実施されるもの。今回の改正では、「認知証のおそれがあるかないか」の２分類に分けられ、検査項目も簡素化し「手がかり再生」と「時間の見当識」の２項目。
○高齢者講習
70歳以上の方も含めて２時間の講習で、座学と運転適性検査、実車練習を実施。
○運転技能検査
身体機能の低下の程度を判断するための検査。対象者は、運転免許の有効期限満了前の誕生日の160日前の前の日から３年間の間に「一定の違反」歴がある方。対象者は、高齢者講習と認知機能検査の他に、運転技能検査を受検。

高齢者にやさしいまちづくりは、各自治体にとって僅々の課題となっています。人口が減少する中で、市中心部から遠隔地に高齢者が点在して居住する場合、市道の除排雪やゴミの収集、急病時の救急車のリシポンスタイムの増加など、自治体として頭の痛い内容です。
インフラ整備も同様で、水道、下水道、道路、橋、電気などのライフラインの整備費が広域に渡り、お金もかかります。
点在する公共施設や医療機関、商店を中心にした街を市の中心部に集中し、高齢者住宅を中心部に設置することにより、集約によってできた空き地を有効活用することを検討していくことが求められています。

４　交通安全施設整備とまちづくり
コンパクトシティに向けて、交通安全対策は地域活性化のために「何ができるのか」を考え街づくりに参画するべきであると思っています。
街づくりの課題は、
①都市中心部の空洞化は、郊外型大型店舗の増大とともに移動手段である交通量の増加と移動手段を持たない高齢者との格差を生み、都市構成の課題となっていること。
②人口減少と高齢化に対応した都市構想への転換と中心部に機能を集約した都市再生型のコンパクトシティ化への転換が必要なこと。
③周辺魚業･農業生活者への支援活動を行うこと。
④産業･観光拠点を育成し街の活性化を図ること。
にあると思っております。
ご静聴ありがとうございました。

本日の卓話では、令和4年5月に改正された道路交通法で75歳以上の高齢運転者は運転技能検査や認知機能検査を行うことになったということを知ることができ介護職にあたる私としても、接しています高齢者の方々へ周知を行いたいと思う一方、私自身も安全運転に努めようと思います。(T.U.)

ニコニコBOX

川原陽一（カルチャーナイトイベント無事終了しました）
川本康裕（先日の地区大会地区ローターアクト副会長の小野寺会員、地区代表の小椋君ご苦労様でした。本日の卓話髙瀬様ありがとうございます）
本間信（母の体調が良くなりました）
西野義人（地区大会無事に終わりました）
藤井徹也（地区大会参加してきました）
米塚豊（最終ゴルフコンペ優勝しました）
内池秀光（地区大会に参加してきました）